

“Talks, Installations + Meet Up” - SCHEDULE

DIG SHIBUYA 2024 OPENING SESSION supported by JONNIE WALKER BLUE LABEL

時間	言語	セッション名	登壇者氏名	肩書き
14:00-14:15		オープニング/DIG SHIBUYAプログラム紹介		
14:15-14:40	英語	メインアーティスト： FriendsWithYou	FriendsWithYou 南塚 真史	2024 Main Artist NANZUKA
休憩(15分間)				
14:45-15:30	英語	自己表現を再定義：AIは自己表現を変えるのか？	Leni Andronics Raven Gao Sara Giusto Yoshiro Tasaka	CEO, Oshi CEO, Mewtant Inc. Producer, Aww inc Director, Shibuya Startup Support
休憩(15分間)				
15:35-16:20	日本語	テクノロジーが変える音楽の つくり方と体験	富田 恭通 カワムラユキ 鈴木 貴歩	株式会社マジカルコンプリケーター CEO DGZP合同会社 渋谷花魁 OIRAN MUSIC コンセプト・プロデューサー/ 作家/DJ ParadeAll株式会社 代表取締役/MusicTech Japan 代表理事
休憩(15分間)				
16:25-17:10	日本語	制作者からアーティストへ テクノロジーを使ったアー ティストになった理由	橋本 麦 高瀬 俊明 豊田 啓介	映像作家 / ツール開発者 TART 代表取締役 / クリプトヴィレッジ共同代表 / paramita 取締役/ ジェネラティブアート振興財団 理事 建築家 / 特任教授 (NOIZ/東京大学生産技術研究所)
休憩(15分間)				
17:15-18:00	日本語	街をキャンパスに！： Scramble Night Artを語る	Asako Fujikura Jackson Kaki 久納 鏡子	アーティスト Artist / VJ / DJ アーティスト、アルスエレクトロニカ・アンバサダー
休憩(10分間)				
18:10-18:25	パフォーマンス (サイバー南無南無)			
18:25-19:30	ミーティング			

SPEAKER PROFILE

FriendsWithYou
2024 Main Artist

マイアミ生まれのサミュエル・アルバート・ボークソンと、キューバのバナ生まれのアルトゥーロ・サンドバルが2002年に設立。彼らの作品は世界各国にて招聘され、数々の個展を開催し、Museum of Contemporary Art (マイアミ) にも収蔵されています。

南塚 真史
NANZUKA

1978年東京都生まれ。早稲田大学美術史学科卒業。同大学芸術学修士課程に進んだ後、2005年渋谷に「NANZUKA UNDERGROUND」を設立。現在は、2021年6月に渋谷区神宮前に移転したフラッグシップギャラリー「NANZUKA UNDERGROUD」の他に、渋谷PARCO内にあるセレクトショップ内ギャラリー「NANZUKA 2G」や、2021年に鮎レストランとギャラリーとの異業種コラボレーションスペースとしてオープンした「3110NZ by LDH Kitchen」の展示企画を行う。開廊以来、純粹芸術の枠組に捉われず、田名網敬一、空山基、山口はるみといった商業芸術の分野で活動してきた日本人アーティストを発掘。同時に、ビジョンを共有する70年代生まれのモリマサト、ハロシ、佃弘樹、ダニエル・アーシャム、ハビア・カジェハといったオルタナティブなフィールドで活動する国内外の新進作家を取り扱っている。

SPEAKER PROFILE



Leni Andronics
CEO, Oshi

世界的な音声ストリーミングプラットフォーム「Logcast」のFounder。Vtuberやアニメ・ゲームキャラクターなどのバーチャルキャラクター専用のソーシャルメディア「Oshi」を立ち上げ、音声ベースのコンテンツ、バーチャルイベント、プライベートな交流を通じてファンのエンゲージメントを高め、クリエイターを支援している。



Raven Gao
CEO, Mewtant Inc.

アニメスタイルのAIを開発するMewtant社CEO。同社は、月間訪問者数200万人以上を誇るアニメキャラクター生成サイト「Pixai」を運営。コロンビア大学卒（AI専攻）。



Sara Giusto
Producer, Aww inc

アジア初のバーチャルヒューマン企業であるAww Inc.のプロデューサーとして、Forbes Japanの「30under30」にも選ばれた先駆的な女性リーダーとして活躍。海外で育ち、日本文化への深い理解も持ちながら、クリエイティブ業界とテクノロジー業界のユニークな架け橋となり、バーチャルな人間immaを始め数多くIPを届けている。



Yoshiro Tasaka
Director, Shibuya Startup Support

サンフランシスコ日本総領事館での8年半の勤務を含め、長年サンフランシスコ・ベイエリアで非営利団体の設立等様々な活動に従事。2016年に帰国した後は東北のスタートアップ役員職を経て、株式会社小松製作所に入社。同社が設立したベンチャー・株式会社ランドログで副社長を務める。2020年に渋谷区に参画し、スタートアップ・エコシステム構築と渋谷区の国際化を担当する。



富田 恭通
株式会社マジカルコンプリケーター
CEO

レコードレーベルの制作ディレクター、A&Rの経験ののちに、2010年音楽制作プロダクション、株式会社マジカルコンプリケーターを設立。数々のアーティストの作品作りをサポートしを続けつつ。さらにam8という自身の音楽ユニットの活動を始め、サクスクリプションやNFTを通じての新しい音楽コンテンツ開発を推進している。



カワムラユキ
DGZP合同会社
渋谷花魁 OIRAN
MUSIC コンセプト・プロデューサー/作家/DJ

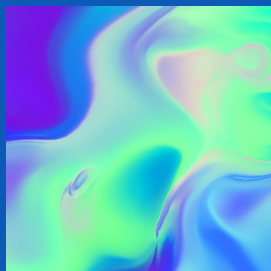
渋谷拠点のプロデューサー/作家/DJ。バリエーションやチルアウトを軸に渋谷区役所の館内BGM選曲、第25回文化庁メディア芸術祭エンターティメント優秀賞を受賞したオープンワールドRPG「CYBERPUNK 2077」楽曲プロデュースなどを担当。作家としては幻冬舎Plusにて音楽エッセイ「渋谷で君を待つ間に」を隔週連載中。音楽家としての最新リリースはIbiza島のレジェンド、故Jose Padillaに捧ぐ「R.I.P. Sunset」を自身が運営するウォームアップ・バー「渋谷花魁」と連動したレーベル「OIRAN MUSIC」よりリリース。DJとしての感覚を活かした空間演出やアートディレクター、イベントのプロデューサーとしても一面も。時代と自身の成熟に寄り添った融通無碍な活動を心がけている。



鈴木 貴歩
ParadeAll株式会社
代表取締役
/MusicTech Japan
代表理事

ゲーム会社、放送局でコンテンツ企画、事業開発を担当した後に、2009年にユニバーサルミュージック合同会社に入社。デジタル本部本部長他を歴任し、音楽配信売上の拡大、全社のデジタル戦略の推進、国内外のプラットフォーム企業との事業開発をリードし、2016年に起業。現在は日米欧の企業へのエンターテック領域の事業戦略、事業開発、海外展開のコンサルティング事業に加え、日中のスタートアップのアドバイザーも務める。2021年からWeb3領域のプロジェクトを多数手がけ、メタバース不動産の開発を行う「MetaTokyo株式会社」の代表取締役CEOを務めながら、日本発音楽DAO「FRIENDSHIP.DAO」の共同立ち上げメンバーでもある。

SPEAKER PROFILE



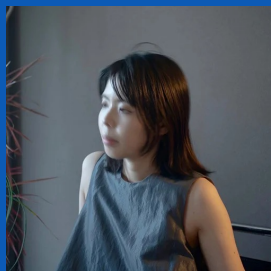
CGIからコマ撮りアニメーション、ハードウェア、インタラクティブ作品まで、多岐に渡って個人で制作を続ける。さまざまな表現手法の実験の積み重ねにより、多様な視覚表象のスタイルを模索している。第19回メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞受賞。

橋本 麦
映像作家
/ ツール開発者



建築設計を中心に、各種インスタレーションから社会基盤システム、都市計画まで多様な領域で最新の計算技術を活用したデザインや研究を行う建築家兼研究者。

豊田 啓介
建築家 / 特任教授 (NOIZ / 東京大学生産技術研究所)



1992年生まれ。東京藝術大学大学院メディア映像専攻修了。都市・郊外を横断的に整備するインフラストラクチャーや、それらに付随する風景の奥行きに注目し、主に3DCGアニメーションの手法を用いた作品を制作。近年では、埋立地で日々繰り広げられている物流のダイナミズムと都市における庭の出現に注目し、新たな空間表現を展開している。

Asako Fujikura
アーティスト



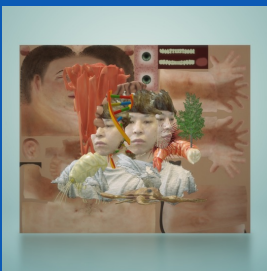
これまでインタラクティブアート分野における作品を手がける一方、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、大学や企業との共同技術開発など幅広く活動している。2017年からはArs Electronica Futurelabの研究プロジェクトにも携わる。作品はポンピドゥセンター（フランス）、SIGGRAPH（アメリカ）、文化庁メディア芸術祭など国内外で発表。東京都写真美術館（日本）に所蔵。

久納 鏡子
アーティスト、
アルスエレクトロニカ・アンバサダー



2016年からブロックチェーンを活用した事業開発を開始。2019年にTARTを創業し、Social Token発行支援や、コンテンツ産業におけるNFT活用支援を行う。現在はアーティストや自治体に対してNFTをはじめとした技術支援を行う。代表的な取組としてGenerativemasks、KUMALEON、Nishikigoi NFT、SINRAなどがある。

高瀬 俊明
TART 代表取締役 /
クリプトヴェレッジ
共同代表 / paramita
取締役 / ジェネラティブ
アート振興財団 理事



3DCGを中心に、VR/AR/MR、ビデオ、ゲーム、インスタレーション、サウンドアートなど、マルチメディアを通じた作品を制作し、仮想世界と現実世界をテーマに、ポスト・インターネットの社会と世界の関連性を見出している。

Jackson Kaki
Artist / VJ / DJ